

豊かな食と幸せな生活を届けます

トツプの素顔

vol.

7

カワグチ株式会社
代表取締役社長

かわぐち
川口

こうせい
孝誠氏



【プロフィール】

昭和42年福井市生まれ。米国ジョージワシントン大学卒業。その後、数社を経て、平成8年に家業でもあるカワグチ(株)に入社。平成24年代表取締役社長に就任。

福井商工会議所常議員、中小企業経営強化委員長の他、協同組合ゴールドショッピングセンター副理事長、協同組合ショッピングモール理事などの公職を務める。

【会社概要】

設立：昭和8年 本社所在地：福井市柁野町 21-6-1

電話：0776-57-7500 従業員：125名

普段、垣間見ることが出来ない福井商工会議所の議員の素顔を探る「トツプの素顔」。今回はカワグチ(株)代表取締役社長の川口孝誠氏にお話を伺いました。

アメリカを夢見る

昭和42年に福井市に生まれた川口氏。自宅は福井市毛矢町で先々代の祖父が昭和8年に創業した川口精肉店でした。

中学校ではバレー部に所属し、高志高校に進学後もバレー部に入ります。半年ほどで退部。以降は自然と家業を手伝うようになり、放課後はお店の手伝いをしていたそうです。高校卒業後はアメリカへ留学。ウエストバージニア大学で1年学んだ後、ジョージワシントン大学に転入。同校ではビジネス学を学びました。

高校卒業後に留学を選んだ背景は、幼少期から洋画好きであったことによるアメリカ生活へのあこがれでした。当時日本国内では国際化が進展し始め

た時期で、海外に進学するには丁度良い時期だったと振り返ります。また、大学時代には、自身でビジネスを立ち上げようという学校の雰囲気があり、将来的に起業することも視野に入れていたそうです。

経験と趣味が活かした社会人時代

大学卒業後は、アメリカ経済が不景気であったこともあり、日本への帰国の道を選びます。国際化が意識され始めた時代、留学を経験した学生への関心が高く、川口氏自身も様々な勉強が出来るだろうと考え、当時の住友銀行に入行します。銀行では外国為替などを担当しますが、銀行組織の巨大さを感じ、自身がより自由に動ける場所を求めて転職を決意。映画好きが高じて映画配給会社であるギャガに入社します。世界的に大ヒットした『マスク』（1994年）などの配給にも携わり、主演を務めたジム・キャリーが来日した際には、アテンドなども担当したそうです。

家業の後継者に

映画配給会社で働いて3年が経過したころに転機が訪れます。当初、家業は川口氏の兄が跡を継いでいました

が、兄が会社を辞めることになり、一転して川口氏が跡を継ぎ、家業に携わることになりました。

カワグチに入社してからは、店頭での販売や配達など、何でもやったり振り返ります。当時、父親でもある先代の秀男社長はフェアモール福井（エルパ）の開設に携わり多忙であったため、川口氏が実質的に会社を任されることも多かったそうです。「当時の経営幹部や社員の多くは、幼少の頃から知っている方々だったので、みんなに支えられた」と回想します。ネット販売を始めるなど精力的に事業に取り組み、平成24年に3代目の社長に就任しました。

同社は理念に「ここちよいテーブル」を掲げており、川口氏も「楽しい食卓の提供を目指している」と語ります。美味しいものを食べれば笑顔になるとするのは世界共通であり、美味しいお肉や惣菜等の提供で家庭の食卓に笑顔を届けています。

また、川口氏は、お客様からいただく声は記憶に残ると言います。店頭での接客時に主婦に上手なステーキの焼き方をアドバイスしたところ、商品を購入してもらい、後日「上手く焼けたよ」と感謝の言葉を受けたことをよく

覚えていると振り返ります。他にもネット販売のレビューで、母親が息子に送ったら喜んでもらえたコメントをもらった際には、「遠く離れた場所にいる親子の食卓を繋ぐことが出来たことに喜びを感じた」と語ります。

核家族化や一人で食事を取ることも増えてはいますが、今後も惣菜マーケットは伸びていくことが予想され、川口氏はこれからも食を通して人々の生活を豊かに、幸せにしていきたいと意気込みます。

見た映画は数知れず

川口氏の趣味はここまでの話からも分かるように映画（主に洋画）鑑賞です。中学時代に前売り券を買って映画館に通ったことが、映画好きになったきっかけのようです。よく見ていたのはジャッキー・チェンなどが出演するアクションものですが、一番好きな作品は『アパートの鍵貸します』（1960年）という作品です。中学生の頃、お正月の夜にNHKで名作映画として放映されていたのを偶然見て、切ないながらもハッピーエンドを迎えるロマンチックコメディな内容に惹かれたと語ります。

また、最近ではお風呂巡りにも興味

を持っています。サウナで汗を流しながら、広いお風呂でリラックスしているそうです。

目指す会社のあり方

最後に自社について。社内では、若手社員も増え、レクリエーションなどで積極的なコミュニケーションを促進しています。食の面から人の生活を豊かに、幸せにするという同社の Motto を通して、お客様だけでなく、社員にも夢を持って働いてもらえるような会社にしていきたいと抱負を語ってくれました。



見に行った映画の前売り券の半券は今もきれいに残っています